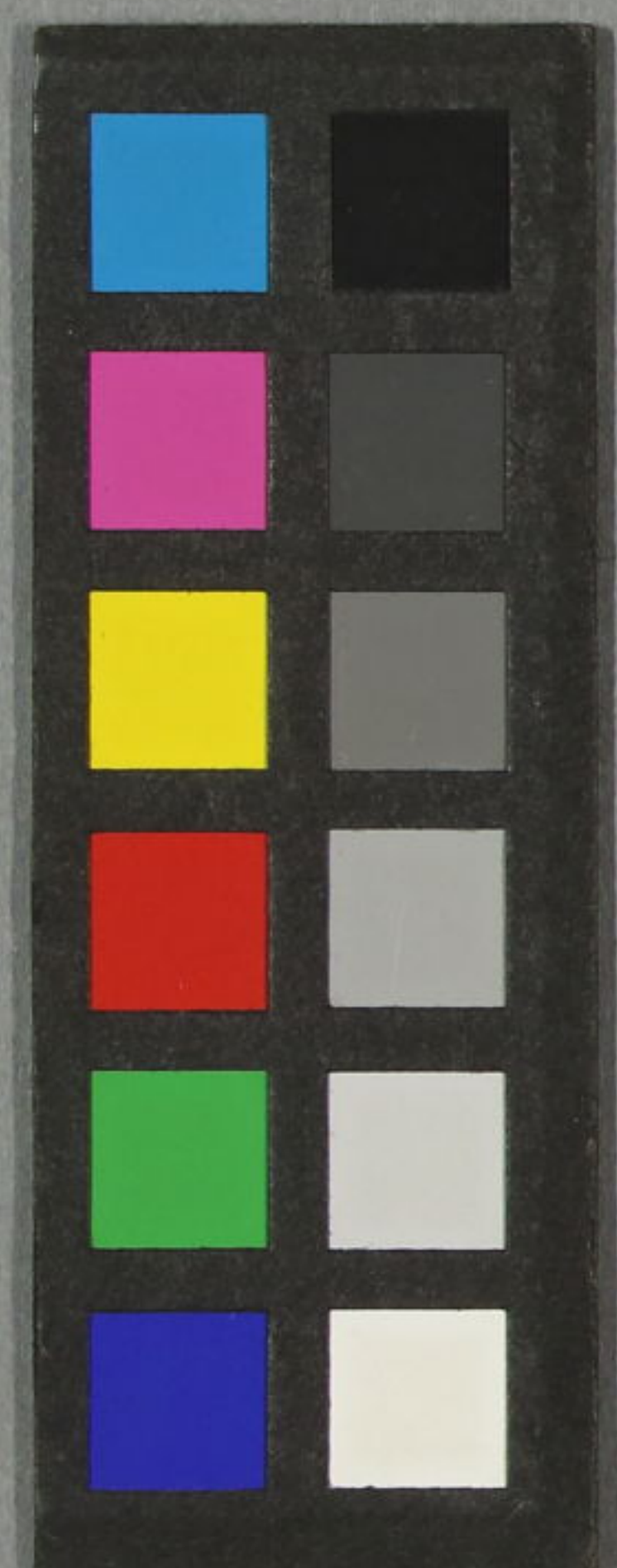




へ13
3811
39

児雷也豪傑譚

第廿七編上冊

柳下亭

種員作

一書多

國貞堂

甘泉



一
千九

一種の伽羅も衣裳小薰とて佛前小炷と大陽と陰との
相違あり幻術とてやまゝ邪道と是と用ゐる正路に依て
行く善と惡との差別あり兒雷也が中道より非義と悔善小
歸せし後其術必惡を撰爲小行趣を先編の序文に述べた
今此巻より一べつを細手か蛞蝓の奇術ハ猶更元來地僊の感應
慈善義軍と興る今川時秋と大洋の中小救姦曲小老一鰐洲
現藤太と郊原小蹶たりと勧善懲惡ありぬへり妖術と唱れ
惡小限るやうなれども善と助る一端ともある一品の伽羅小陰陽ある
等の軟と比れど煙小似る錯乱不文花香ありぬ頑物語ハ只春雨
の徒然小兒童の欠伸を慰ん事と欲而已

安政己未初春 柳下亭種員識

月影深雪助照道

鰐洲現藤太

高砂勇見助
好照田





大蛇丸

大蛇丸

大蛇丸

大蛇丸



力松更名七
姫松須磨太郎

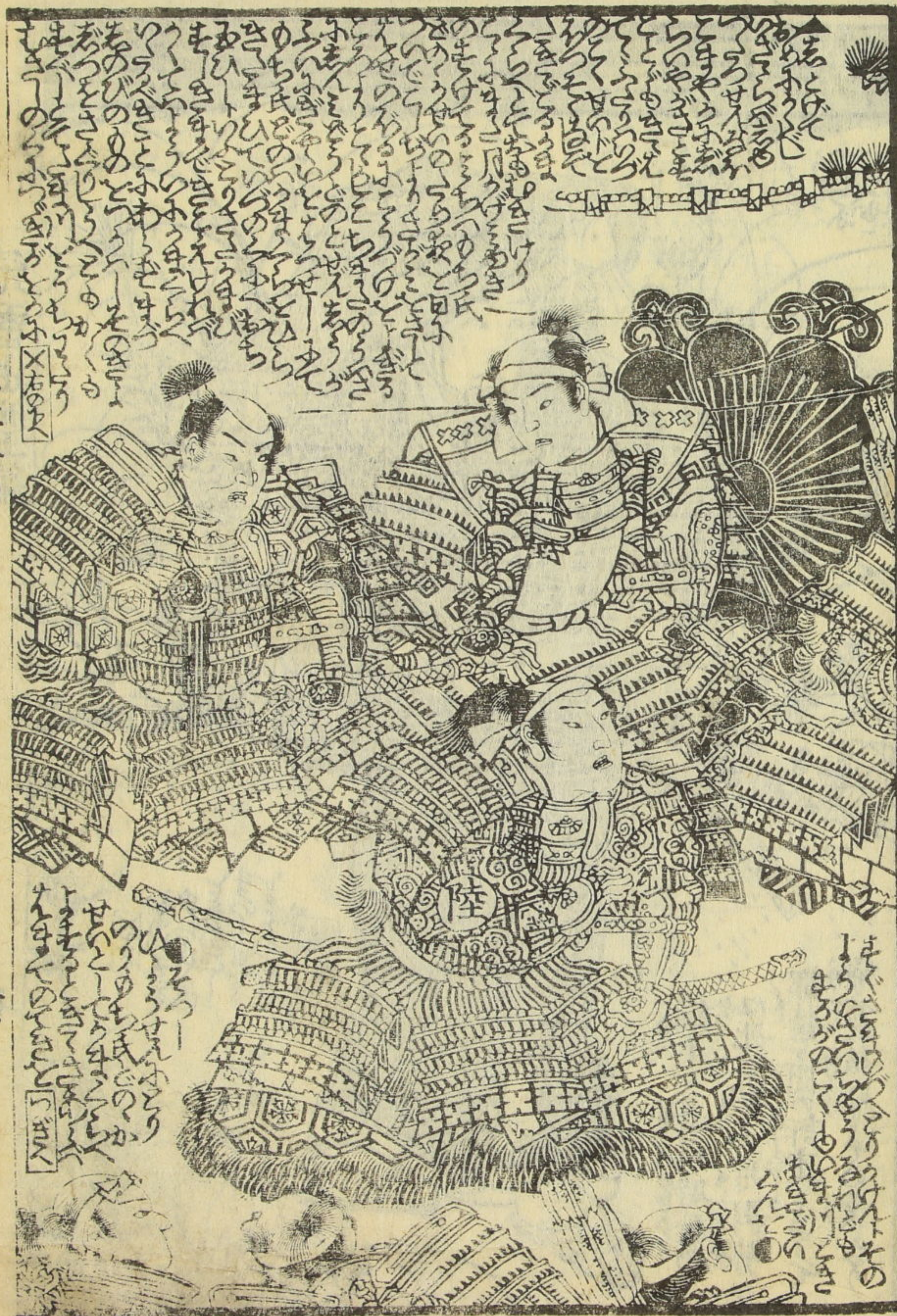


義助於
然魂





兒雷也世五編



相雷也丹玉結

ナニ

史



兒雷也十五編

九



種員作國貞画

柳下亭種久作
一壽齋國貞画

忠清貞常

以呂波

文彦

初孫二編主税

若竹再別名所

柳下亭種員校
一陽齋豊國助
梅素亭玄魚補

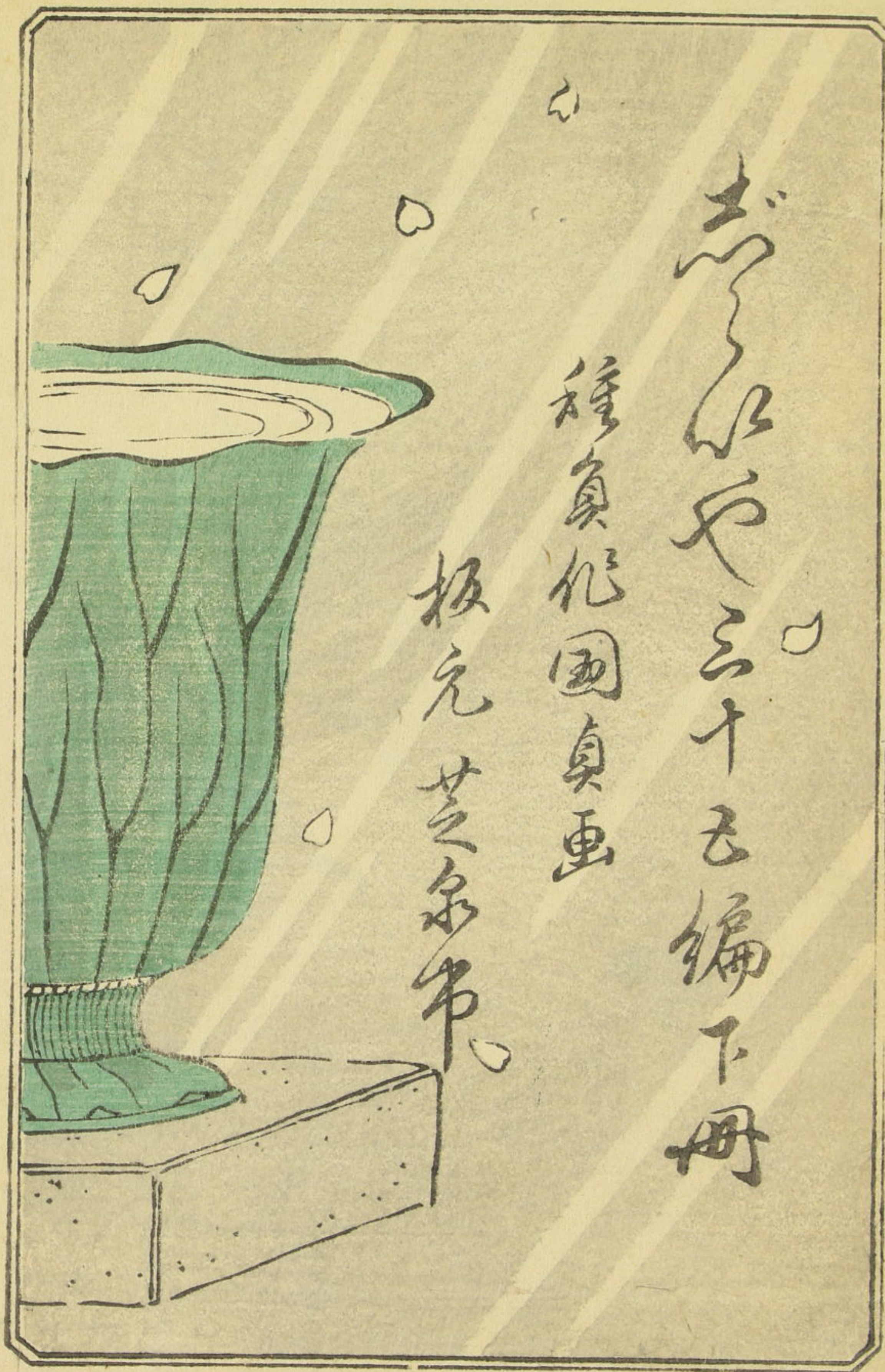
仮名一休草紙
反古
十編
十編
一雄齋
柳下亭種員作

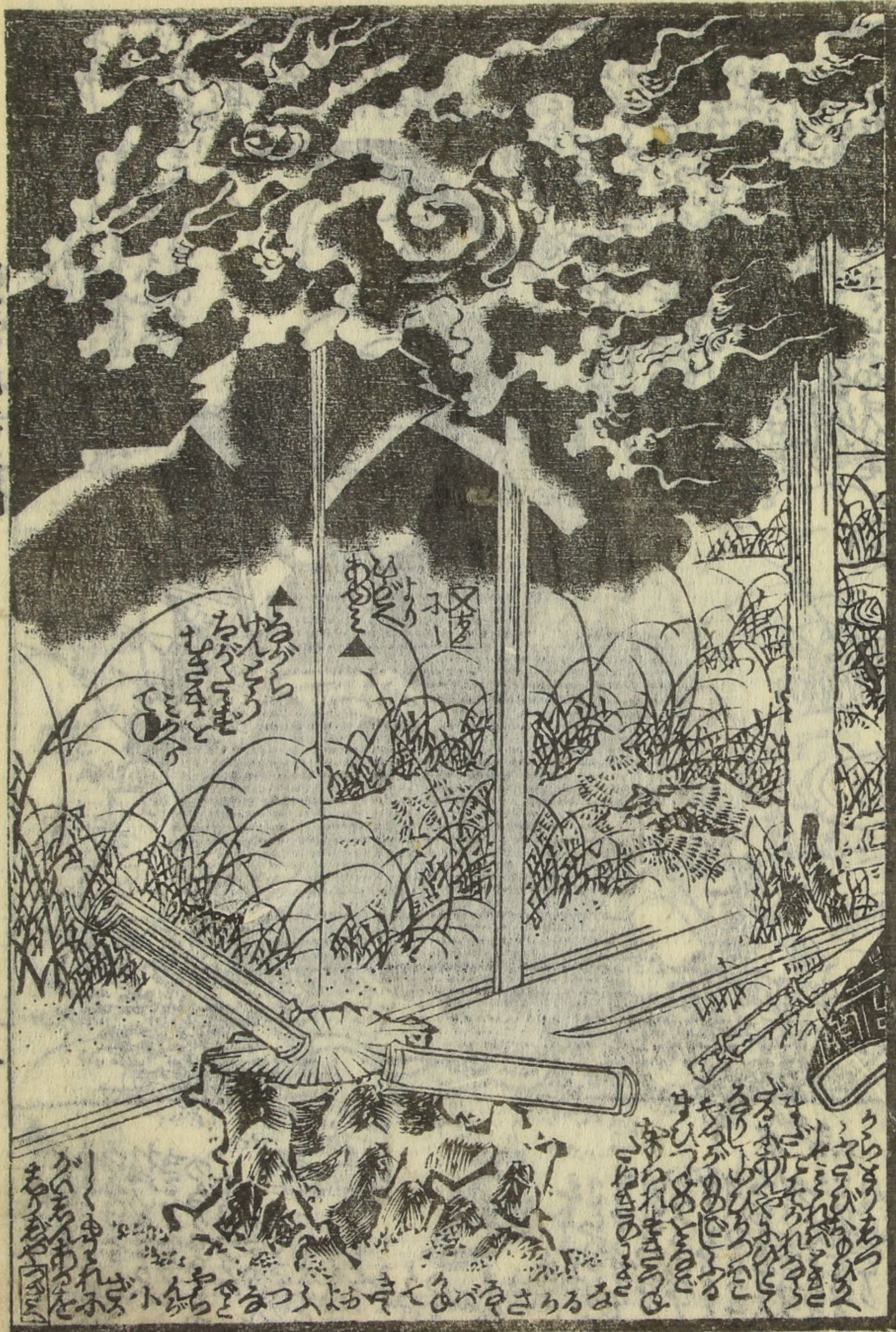
小女郎蜘蛛草環
三編
六尾
曲亭馬琴作
國芳画

照天松操月鹿毛
五編
六編
大尾
春風亭柳枝作
國輝画

風俗浅間嶽
六編
七編
種員校合
種久抄録
國貞画







おのれ

おのれ



おのれ

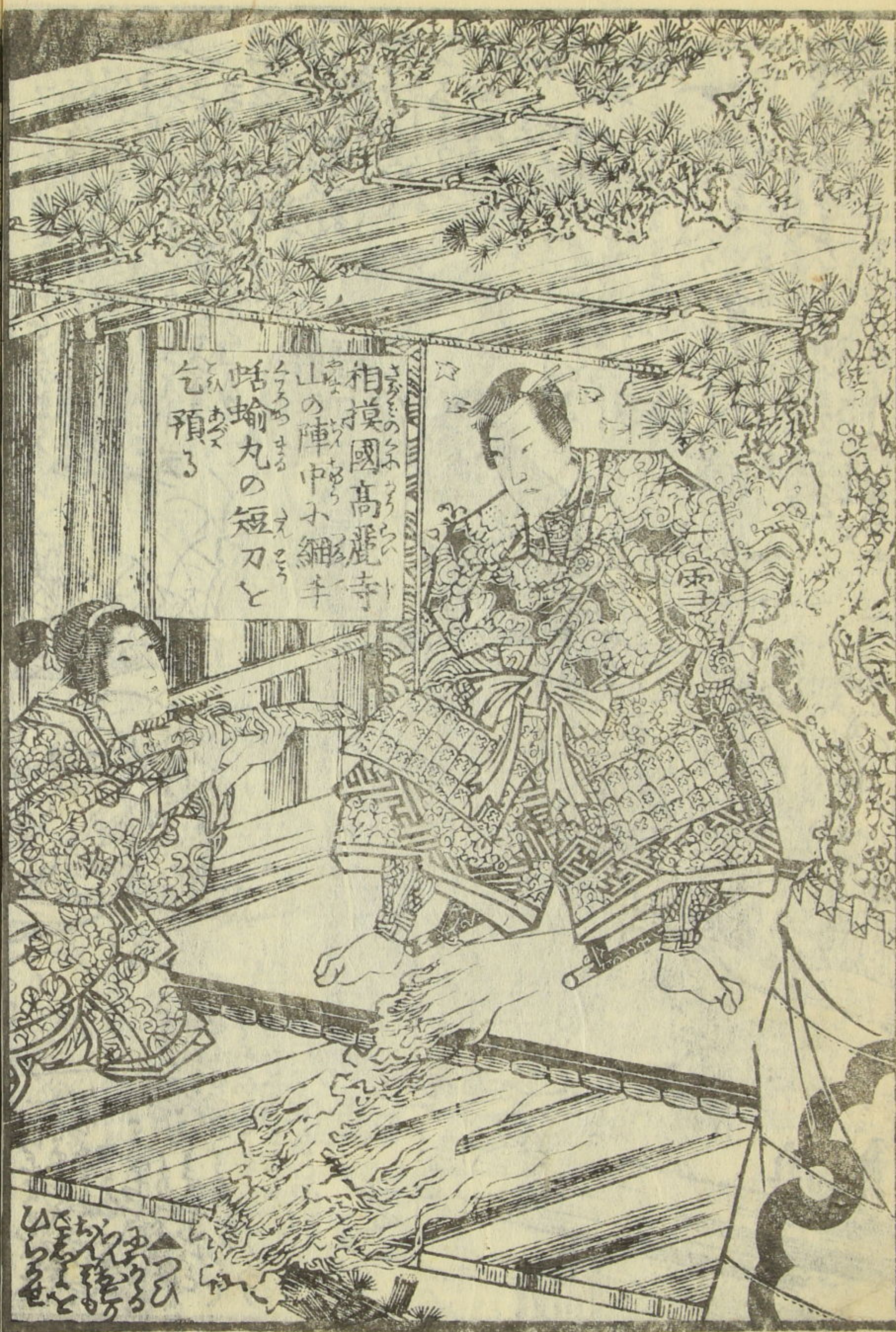
おのれ

つゝいれおもしろきものなりとてちのれ
ゆふえきとくくさかふちうれ
よりまゐるやそまゐるやせんまゐる
あゝさゝあゝさゝあゝさゝあゝさゝあゝさゝ
あゝさゝあゝさゝあゝさゝあゝさゝあゝさゝ



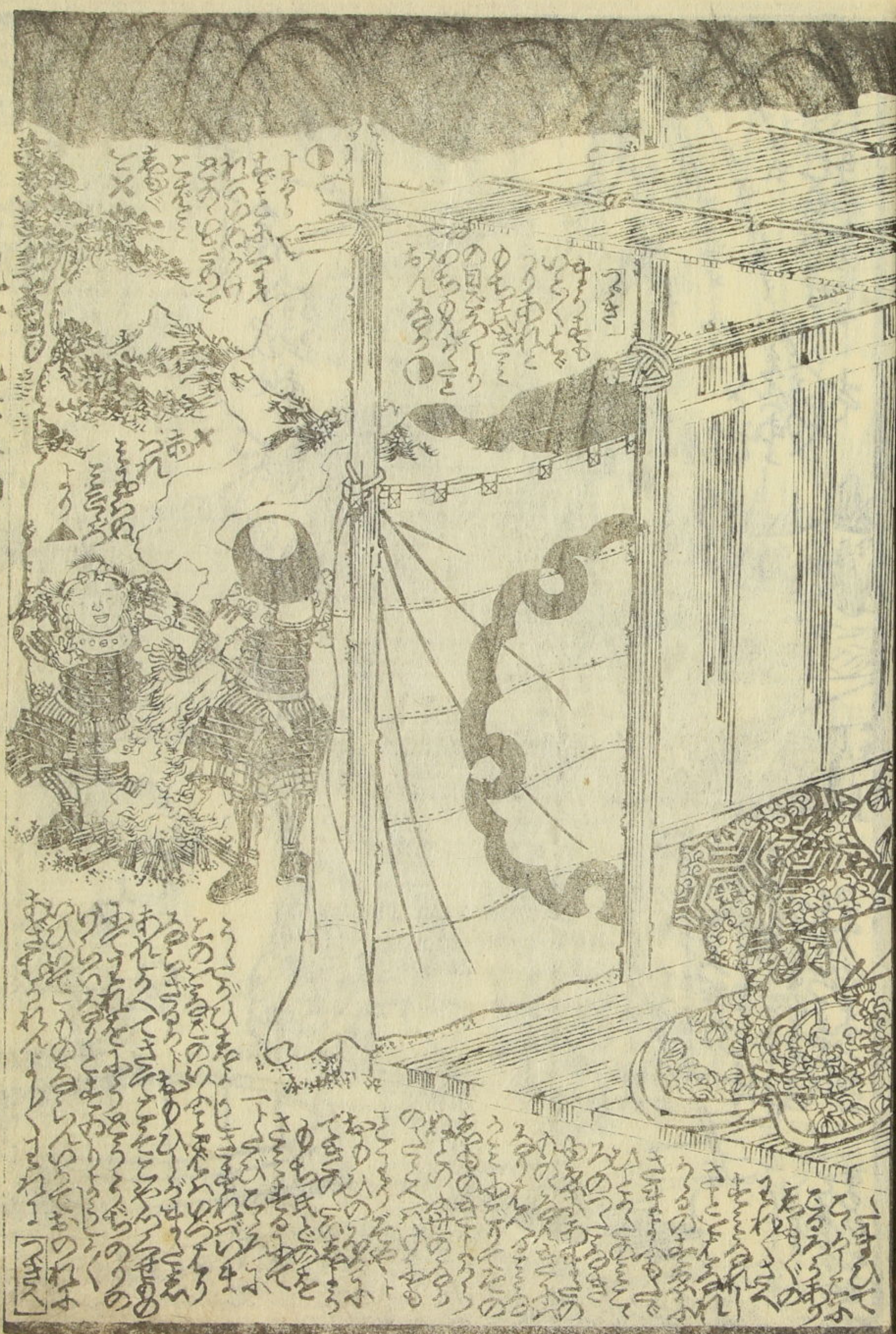
うづつちやうとて
うづつちやうとて
うづつちやうとて
うづつちやうとて
うづつちやうとて
うづつちやうとて
うづつちやうとて
うづつちやうとて

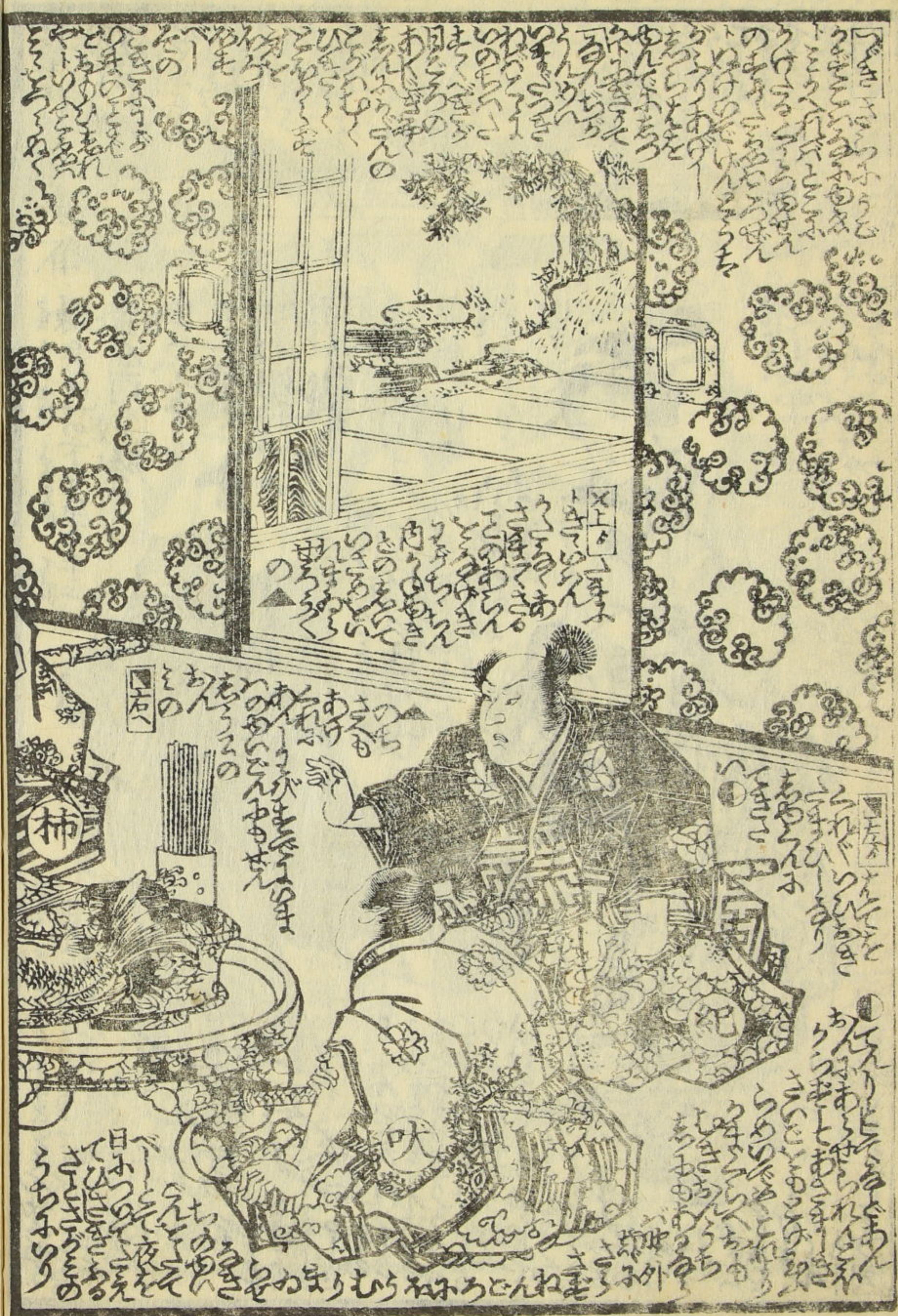




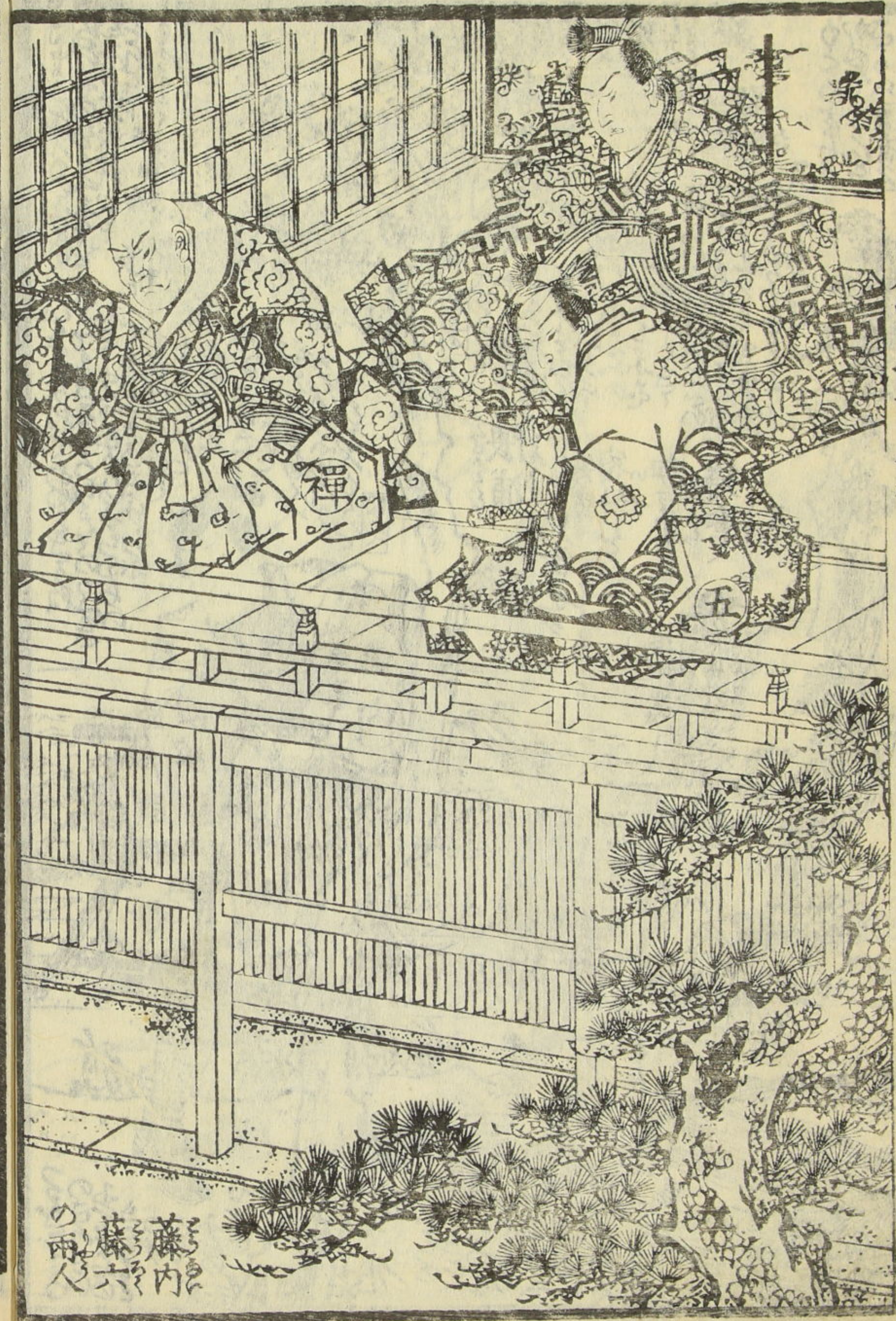
相模國高麗寺
山の陣中細幸
蛸丸の短刀と
乞預る

ひさし
いふ
うら
せと

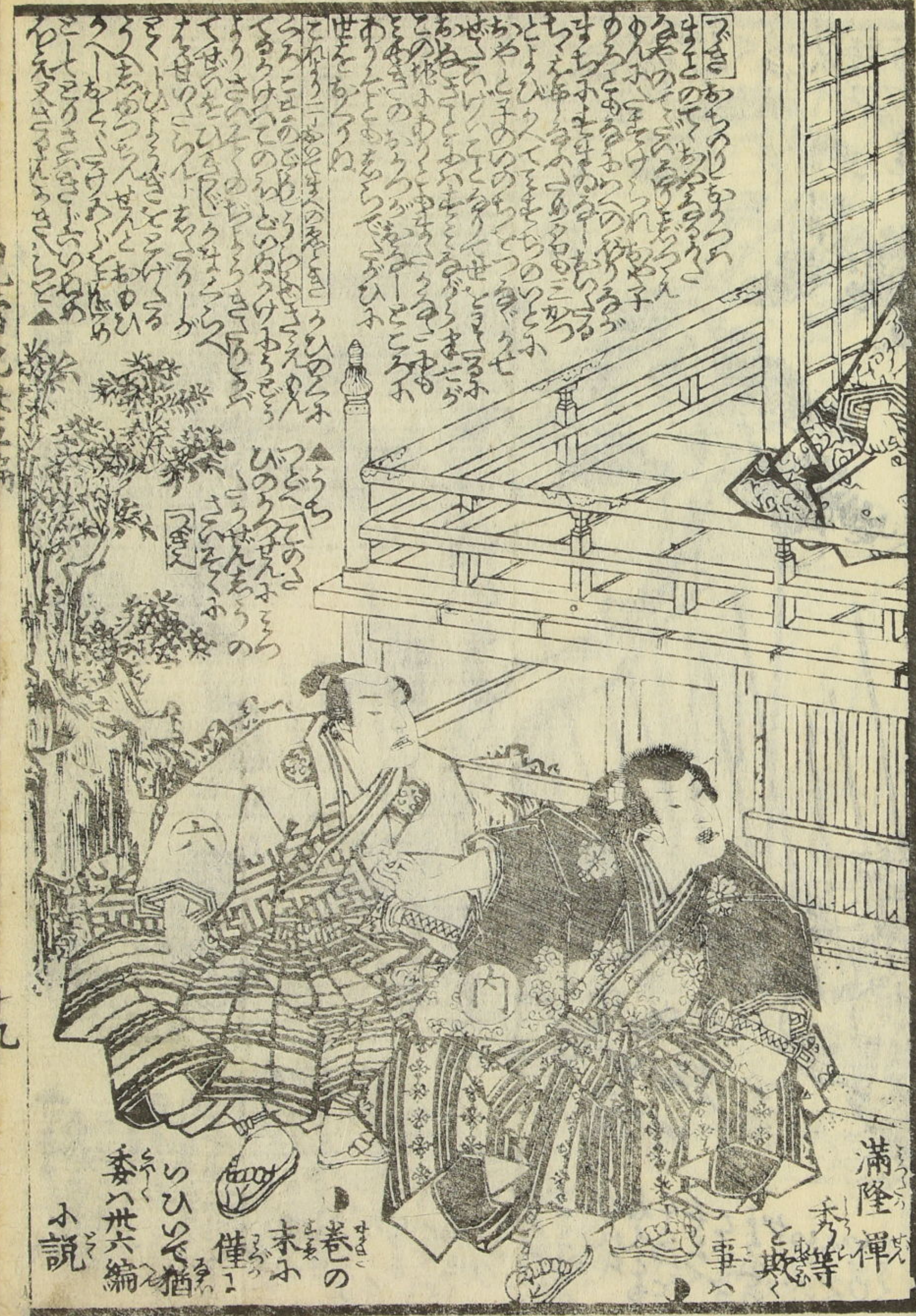






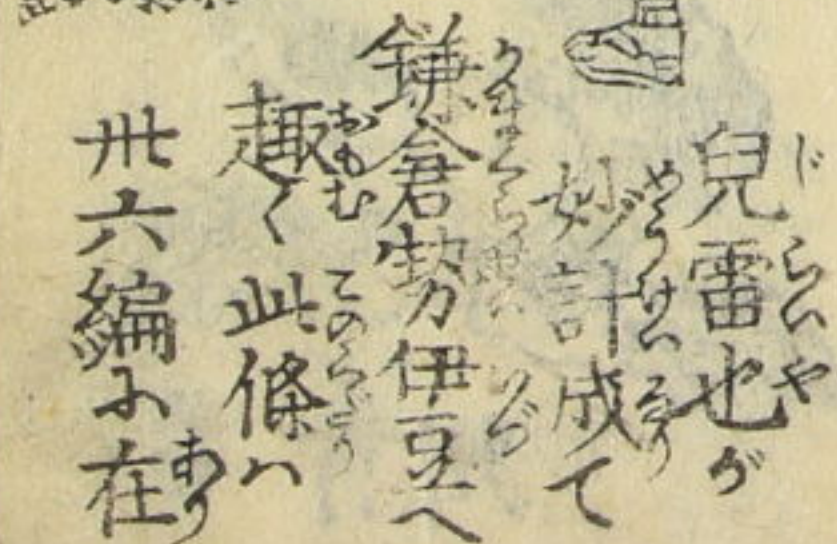


藤内
藤六
の
人

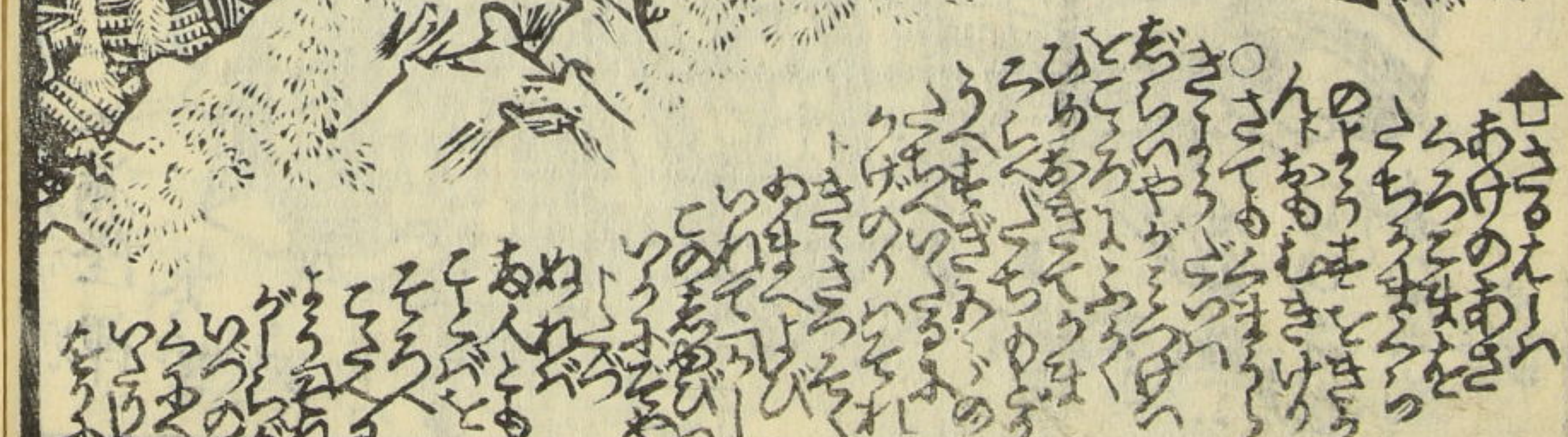


巻の
末小
僅
のひい
委ハ世六編
小説

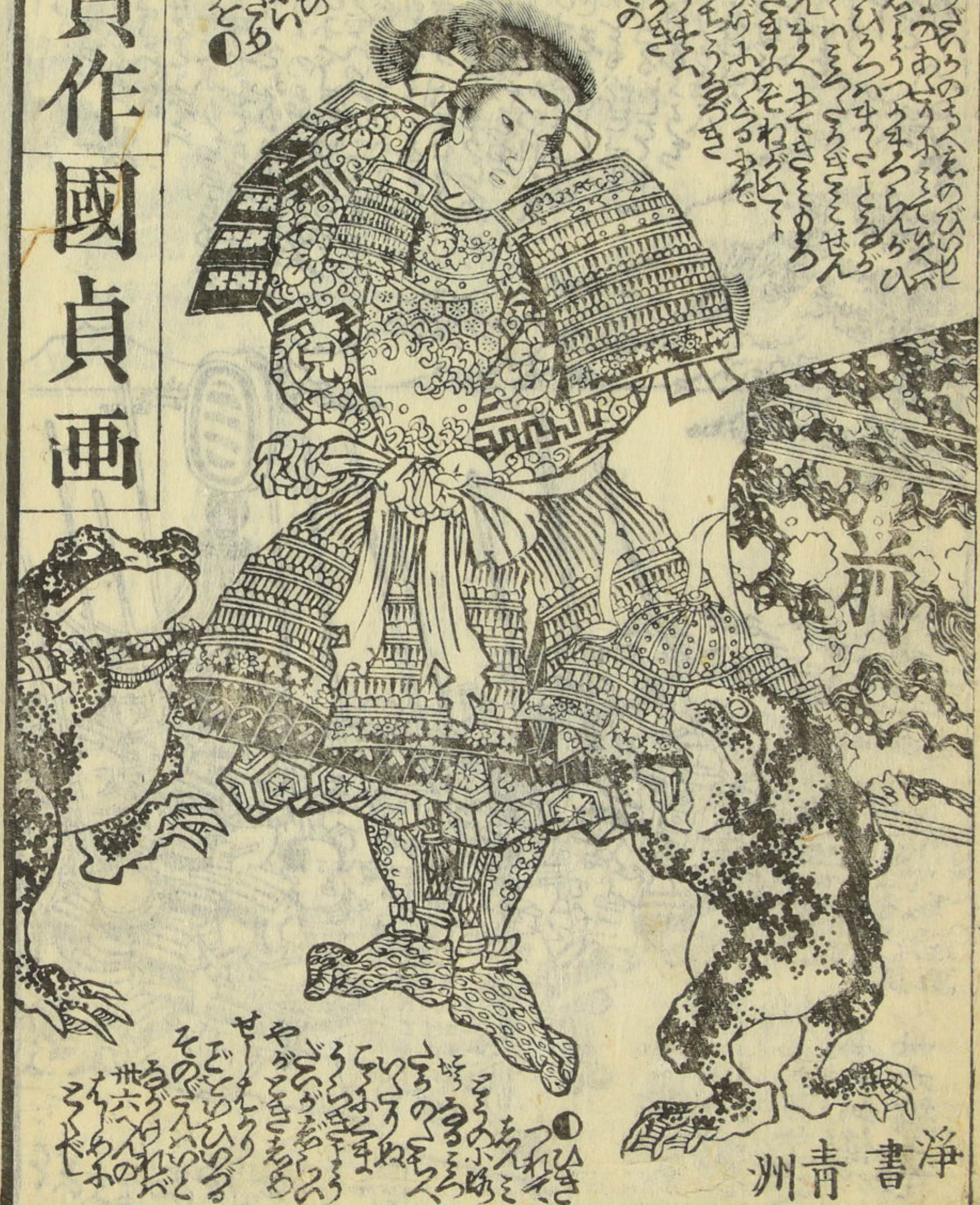
満隆
禪
事ハ



兒雷也并五經



種員作國貞画



繪本 豊臣 勲功 記

八功舍德水刪補
一勇齋國芳畫圖

初編より十二編まで全部百廿冊
但初編より追々出版

初編 日本書紀の生年より 杯の夢の織田家小休佐々川の只道若食及捕使より
今川義元と付滅まの條より終 二編 大濃政延應張古坂の奇計と初移まふと改臨
河内南家の十城と事取迄 三編 二好勢に國を遣道軍と還て勢南の北畠と攻平に
州姉川合戦と續平 四編 八幡井初倉を嚴守施と云ふ出資と據と一千八百越希近江と
來均と播州攻小智勇と據ふ 五編 八丹波の競攻より島取の名播攻を初に水攻
信忠軍と甲佐小向て武田勝頼と滅亡せしめ秀遠を殺ぐて平林寺二條の城を還
戦し秀吉中國東返す編と替 六編 八小幡の吊合戦秀吉の後の渡唐

清洲評定ふ巻収る **七編** の巻と美濃寺の焼香場小編初て賊を御の天合戦
 龍川一益神戶信孝の没落し帳と後を **八編** は四國の長曾我敏政加茂
 智勇免神と強う焼山越十八辰の怪物退治 **九編** は四國聯結より九州
 平治の史中貴田孫名流が相撲と加 **十編** は四國市陣小関東八州
 二十入城と改換條々凱歌と冒へ還軍一給ひ還ふ太閤の稱と得るす
 最精小 **十編** 十編 二十巻と必く朝鮮も度必成と仔細小編輯とより
 至る六編まで覽と帰ふ

新編金瓶梅全輯

白初編至十編大尾

曲亭馬琴翁作
 一陽齋豊國画

書肆甘泉堂芝神明前和泉屋市兵衛版

源平打毬

双六

女郎花五色石臺

八編 井下多喜作
 九編 一雄斎國光画

新編金瓶梅

十編 曲亭馬琴作
 十一編 一陽齋豊國画

黄金水入る盃

七編 為永本代
 八編 秋八國貞画

一猛齋芳虎画

三十六歌仙詠色双六

柳下事種員作
兒雷也豪傑譚

十一編 井一編
 十二編 井二編
 十三編 井三編

一壽齋國貞画

芝神明前甘泉堂和泉屋市兵衛板

